

Rotator cuff tear arthropathyに 対する 人工骨頭置換術・筋移行術の短期成績

Department of Orthopaedic Surgery, KKR Hokuriku Hospital,
Ishikawa, Kanazawa, JAPAN



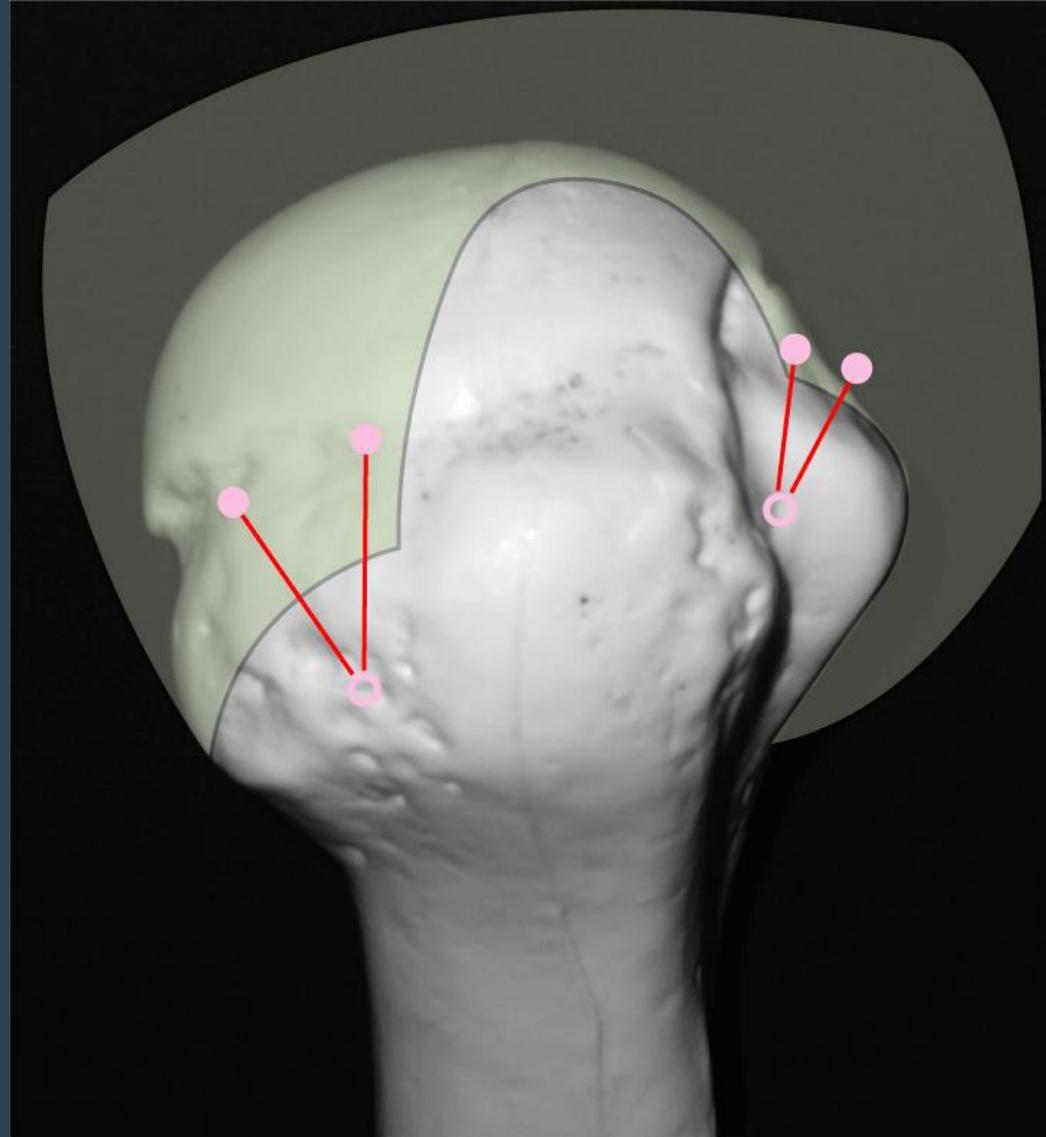
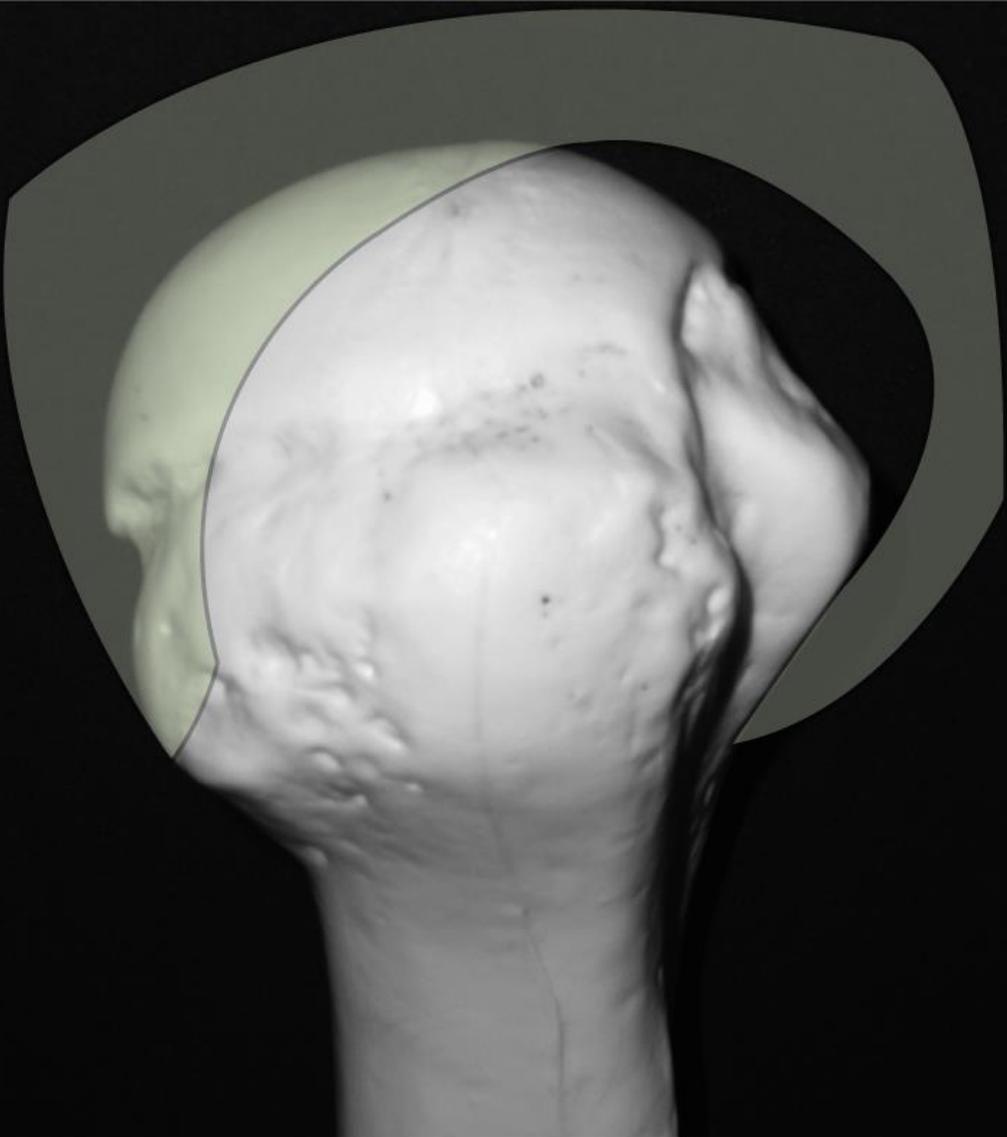
Takashi KOBAYASHI



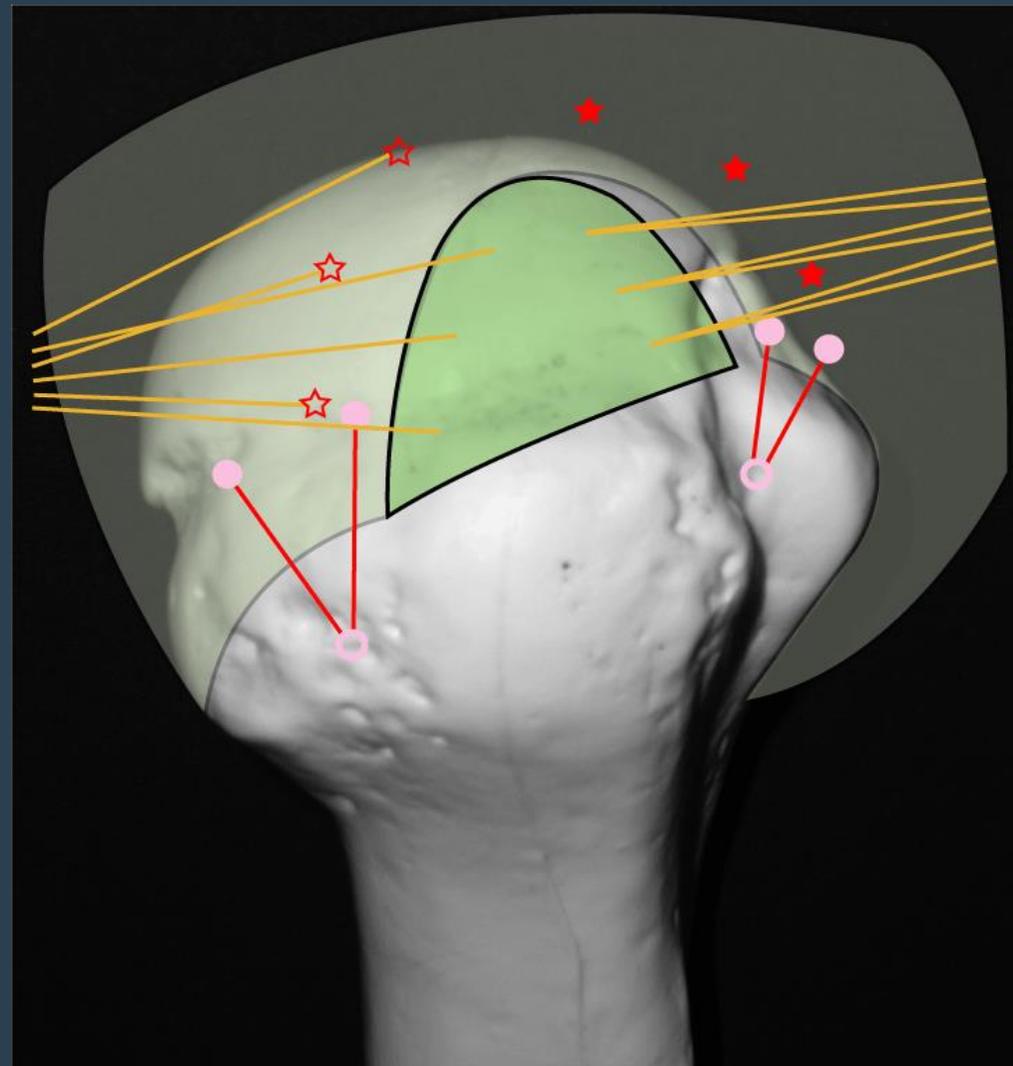
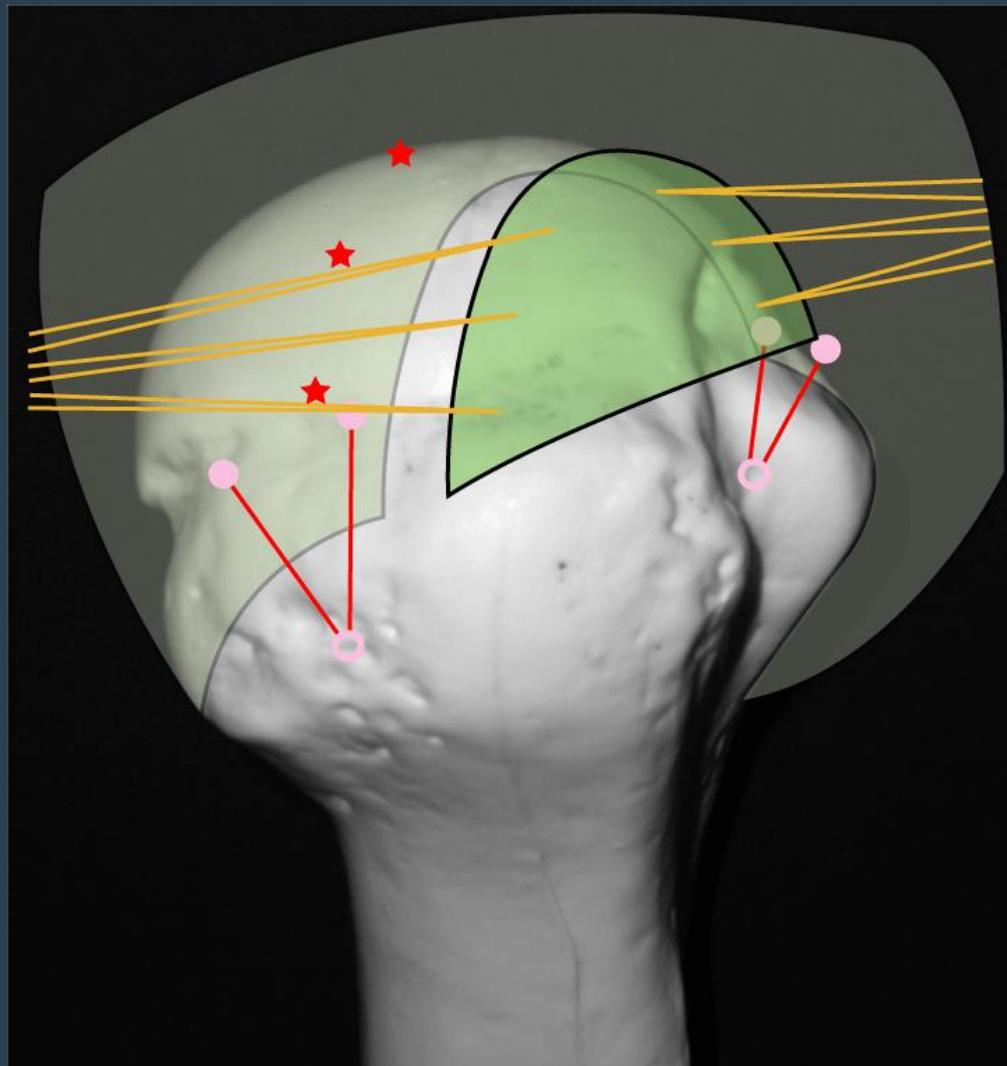
一次修復が難しい腱板断裂

- 完全には修復できない
 - SSC and ISP: 修復可能
 - SSP: 大結節に引き出せない
 - SSPの欠損に移植
 - 大腿筋膜移植
- 全く修復ができない
 - SSC and ISP: 修復不能
 - 大腿筋膜移植の適応外

SSC and ISP Repair



Fascia Lata Autograft



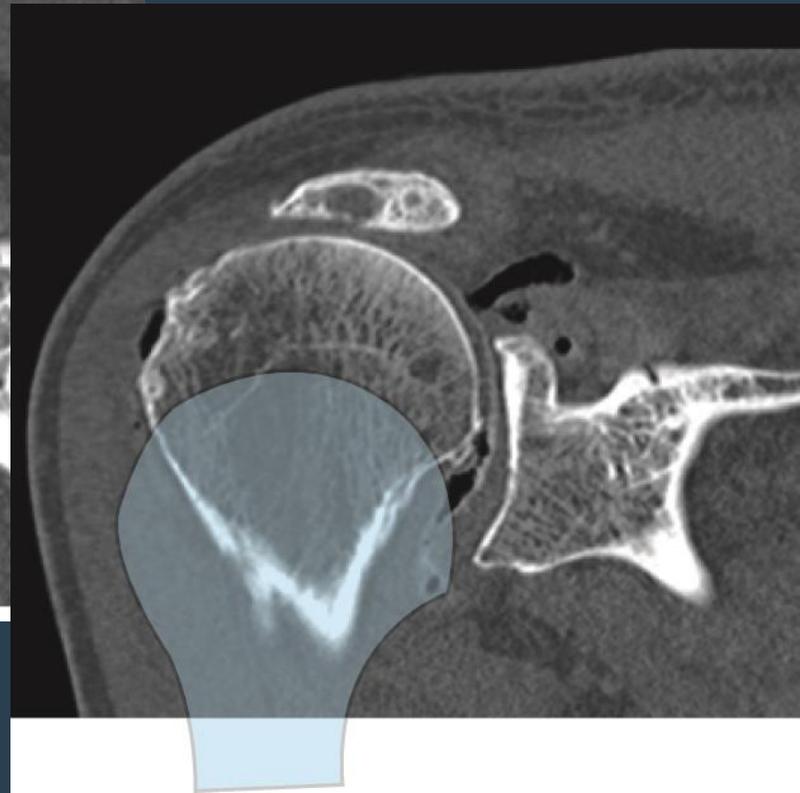
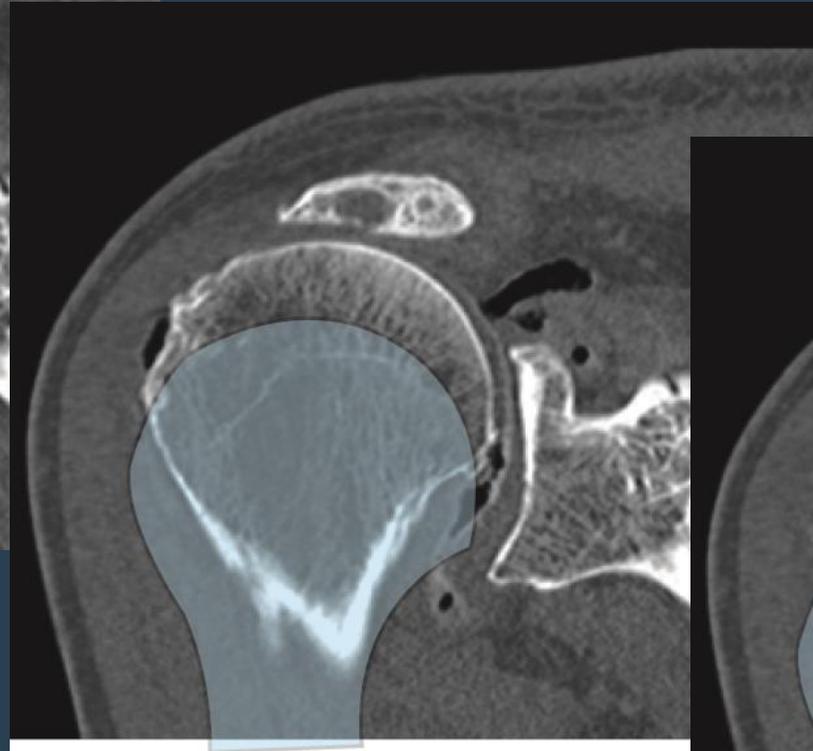
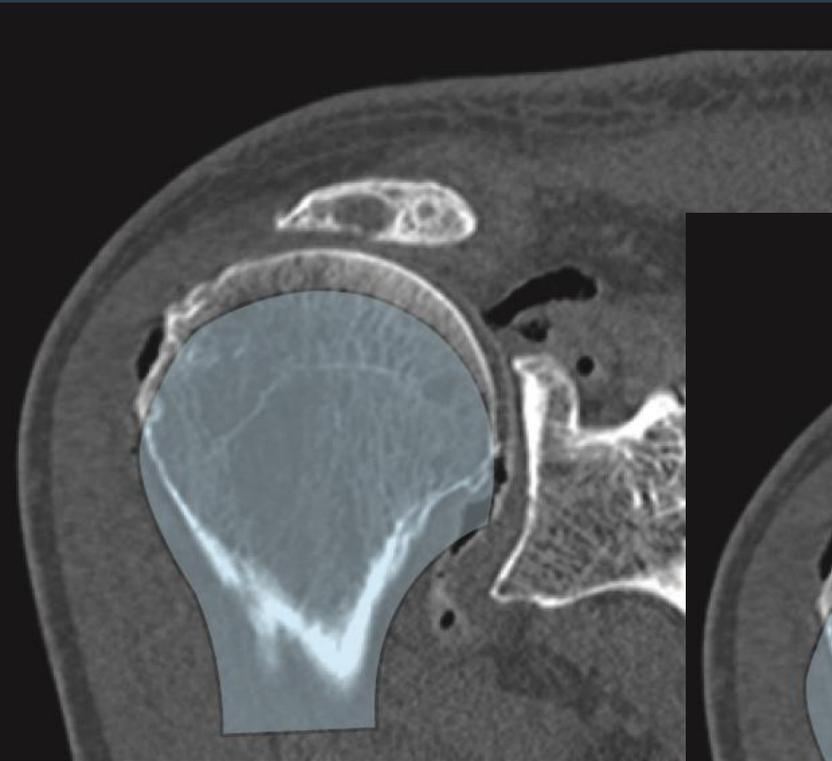
一次修復が難しい腱板断裂

- 完全には修復できない
 - SSC and ISP: 修復可能
 - SSP: 大結節に引き出せない
 - SSPの欠損に移植
 - 大腿筋膜移植
- 全く修復ができない
 - SSC and ISP: 修復不能
 - 腱板の再建
 - 変形性肩関節症の合併
 - Rotator cuff tear arthropathy

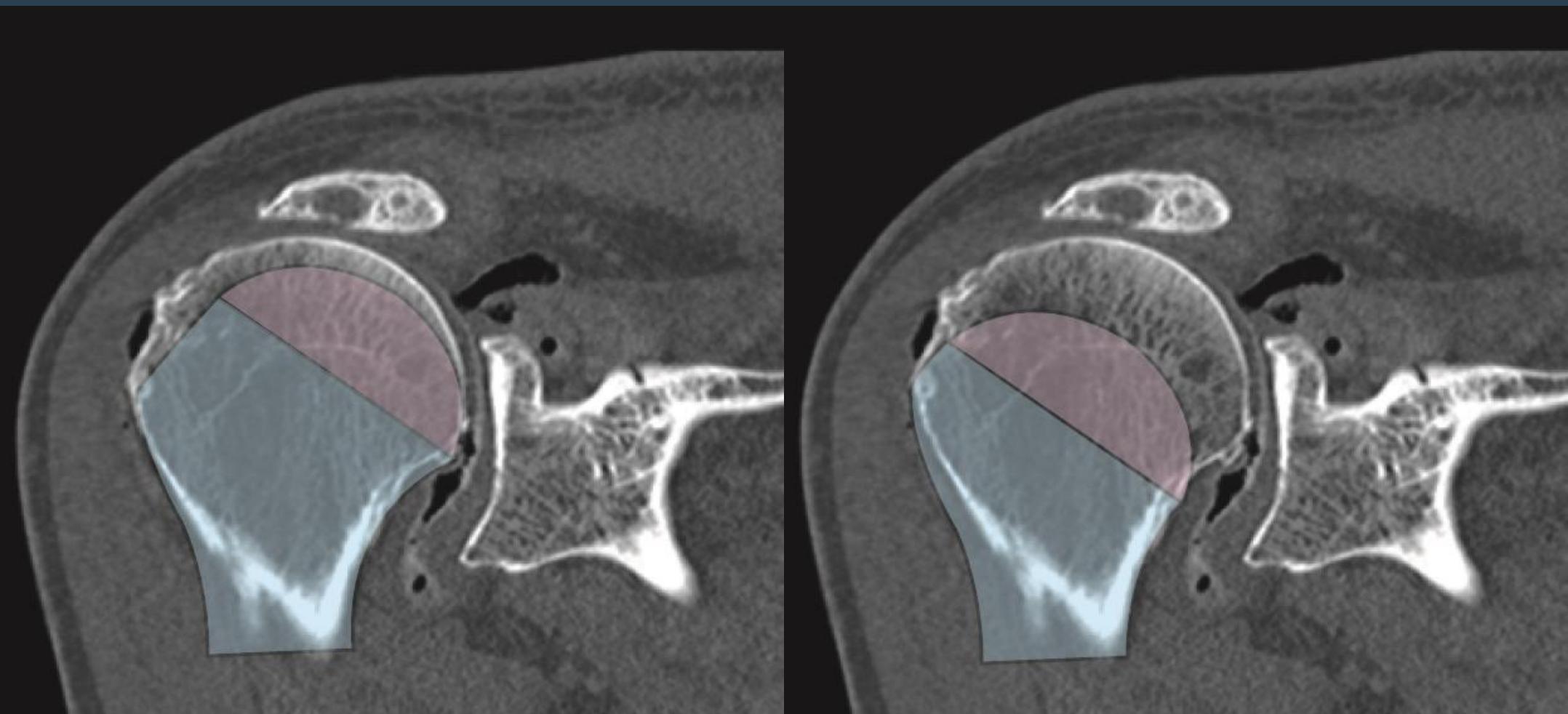
骨頭上昇



骨頭がどこまで下がるか



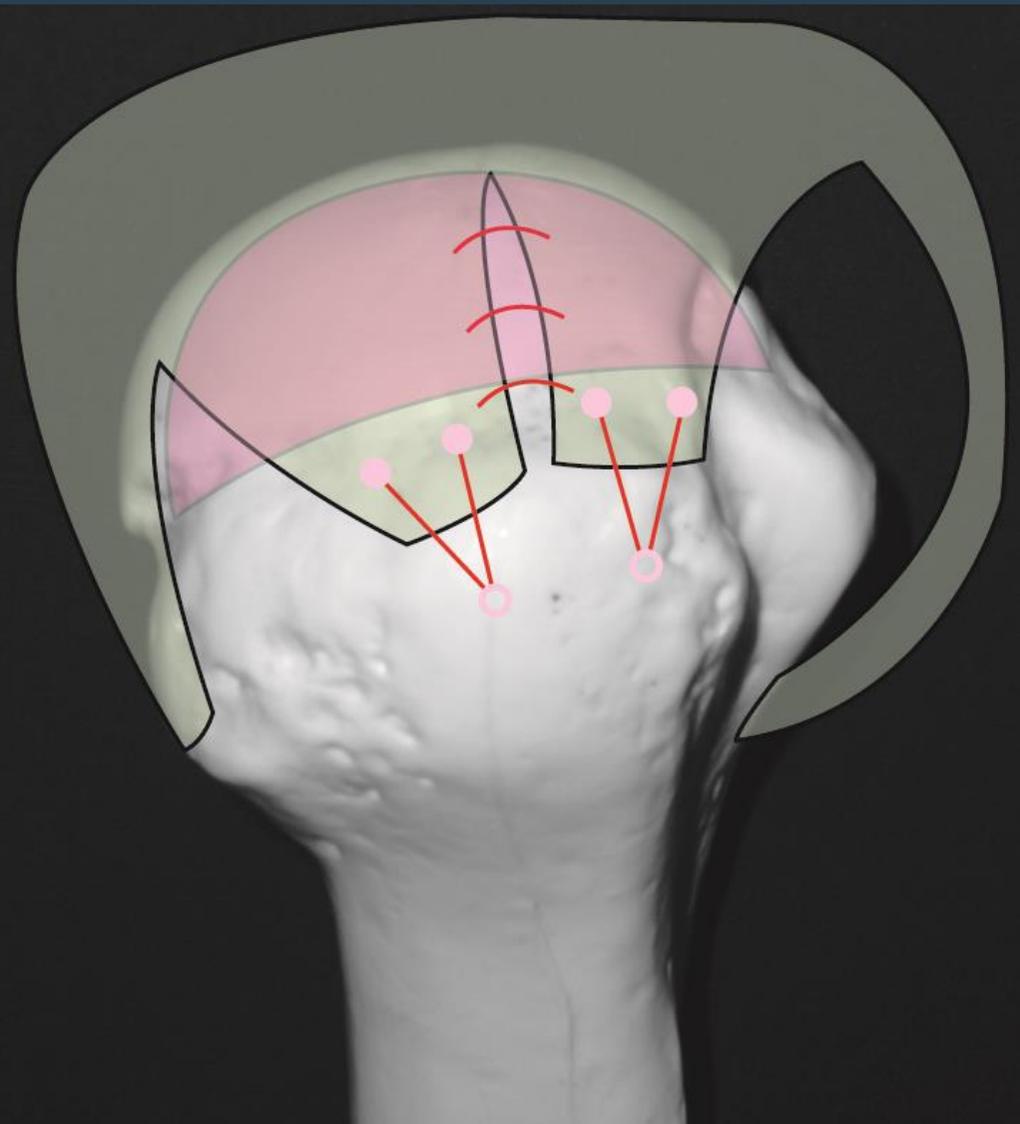
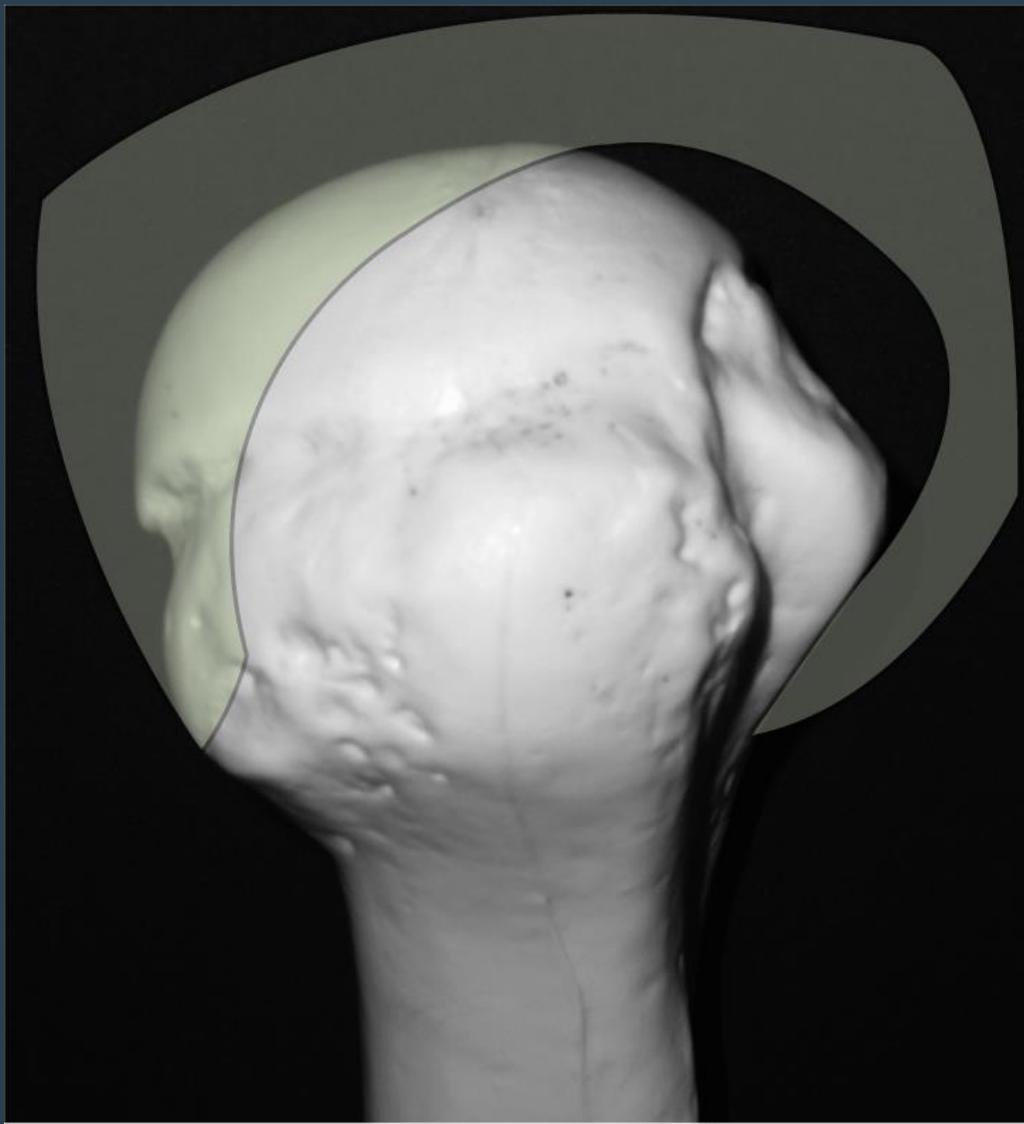
骨切り後骨頭のインプランテーション

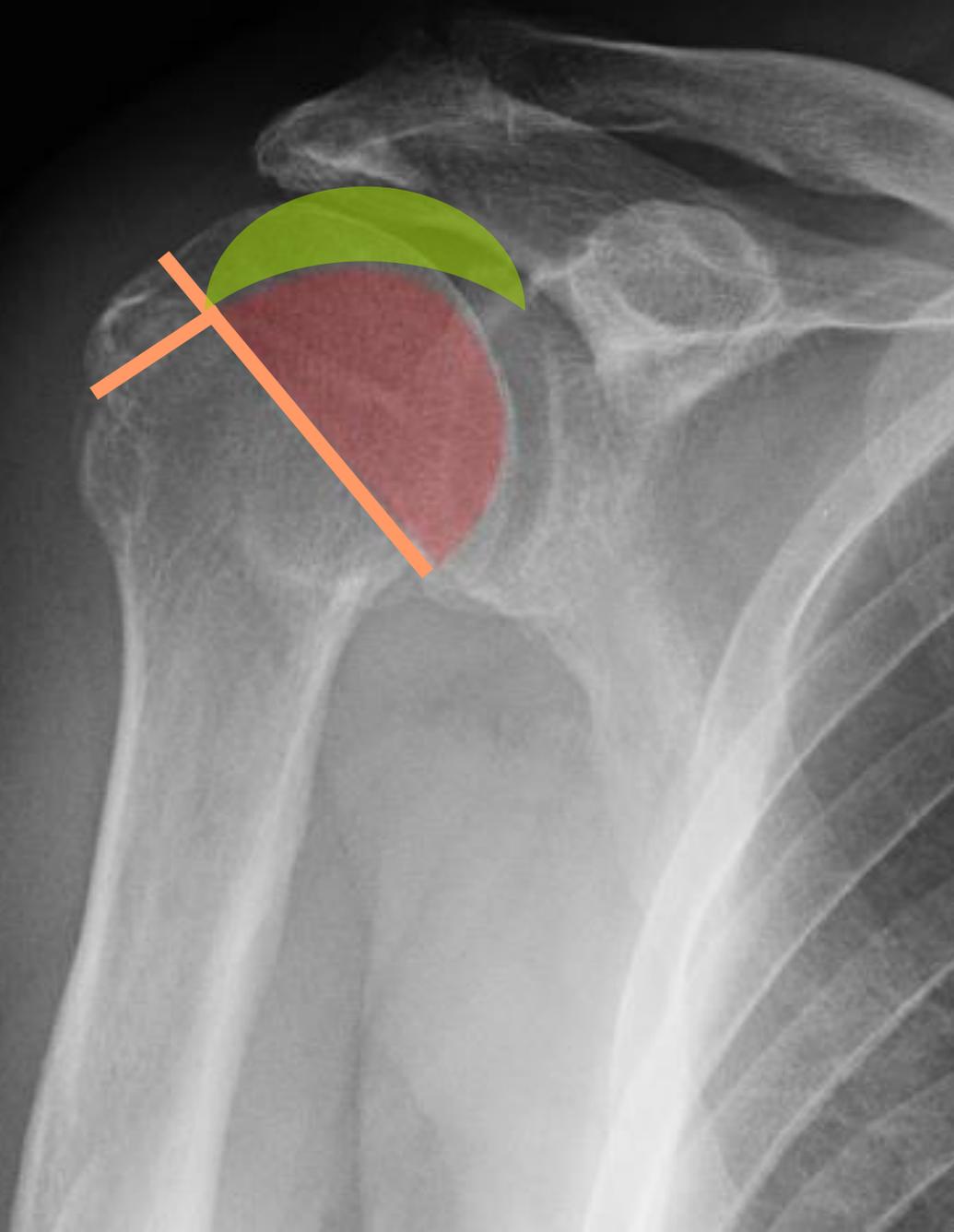


Rotator Cuff Tear Arthropathyの再建

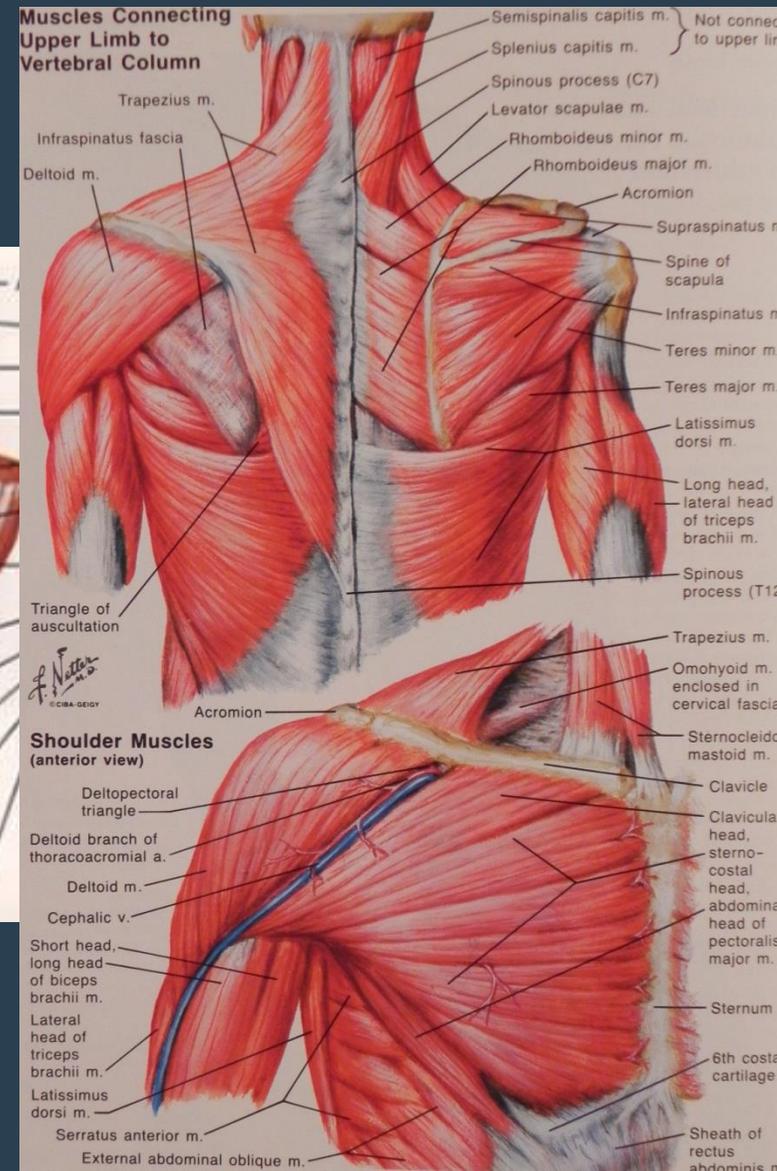
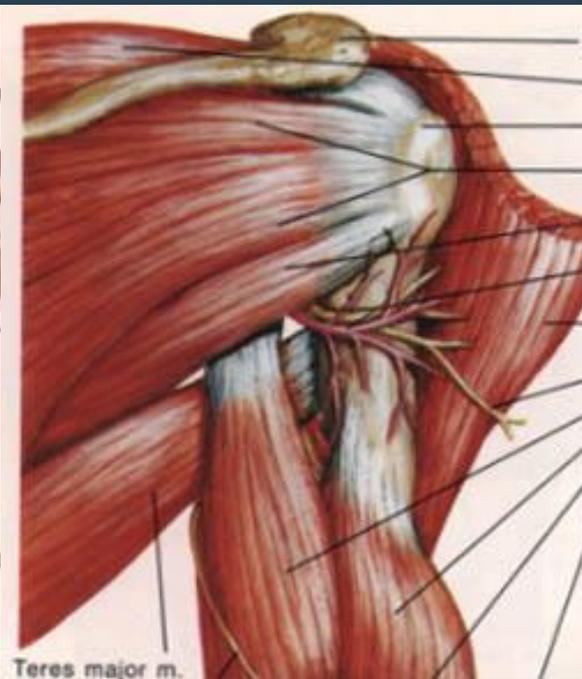
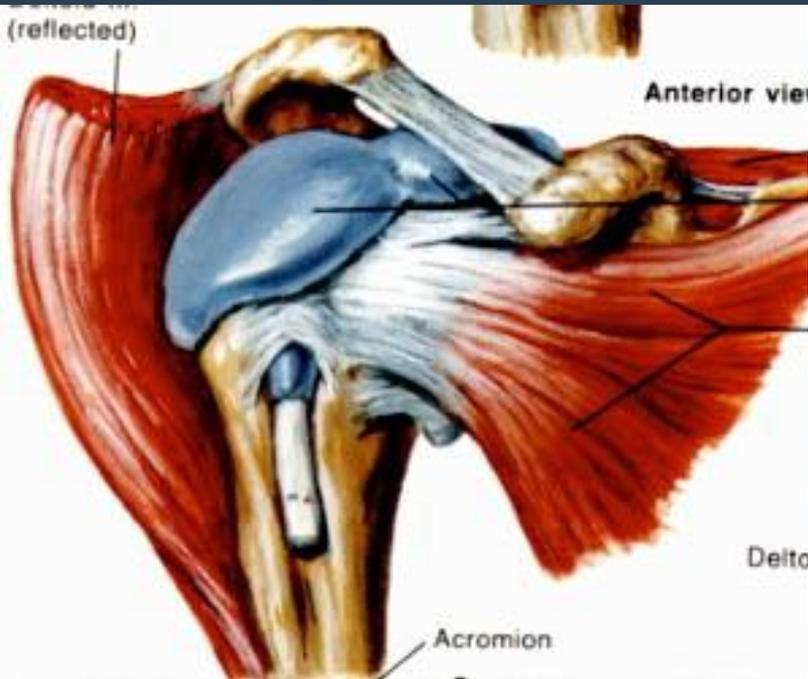
- 変形症の対応, 骨頭を下げる, 求心位
 - 人工骨頭置換
- 腱板の再建
 - 肩甲下筋, 小円筋の前進
 - 大胸筋移行
 - 広背筋移行

肩甲下筋，小円筋の前進術+人工骨頭

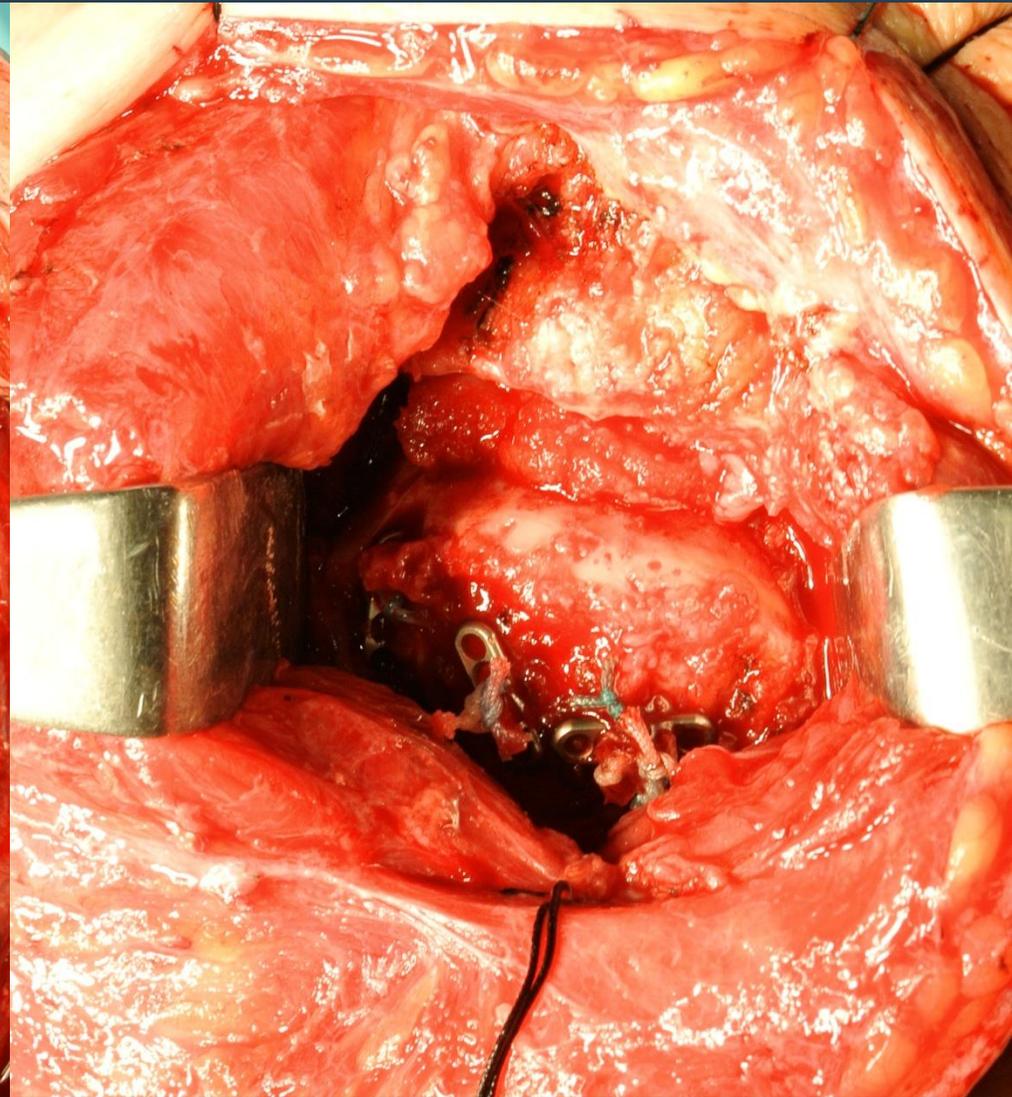
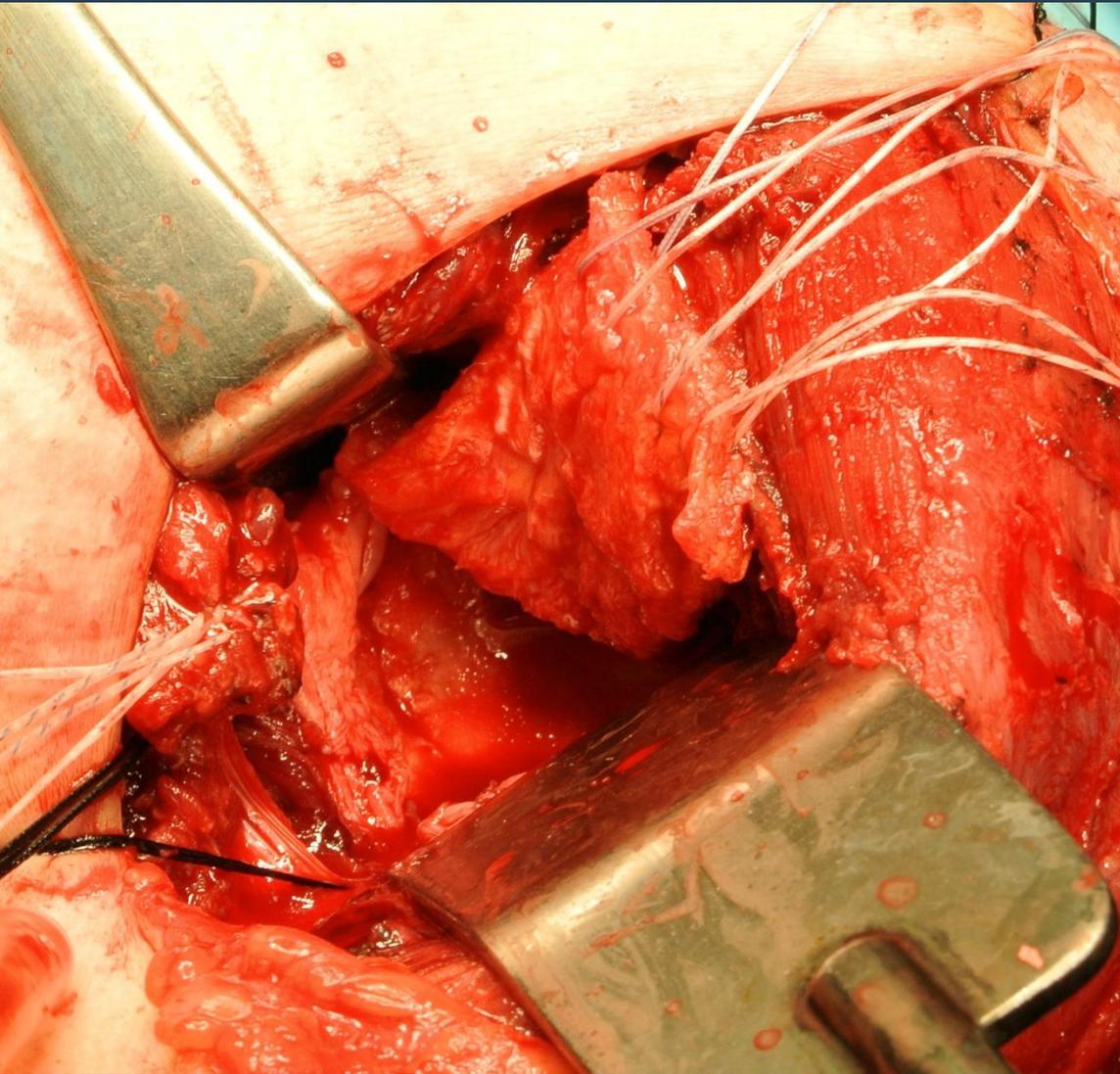




肩胛板, 大胸筋, 広背筋



大腿筋膜の移植



SSC, SSP, ISP Tear



修復不能な腱板広範囲断裂に対する人工骨頭置換術

- 2011年9月~2013年2月
- 17例, 17肩(20肩中3肩は他院)
- 男性12肩, 女性5肩
- 右12肩, 左5肩
- 手術時平均年齢 73.8歳(61~82)
- 術後経過観察期間 12.0ヶ月(6~22)
- 追加術式
 - 前進術で腱板修復 4
 - 大腿筋膜移植 13
 - LD-transfer 12
 - PM-transfer 6

修復不能な腱板広範囲断裂に対する人工骨頭置換術

- 成績評価

- 優: 肩の挙上が120度以上, 筋力低下もない
- 良: 肩の挙上が120度以上, 内外旋, 挙上筋力の低下
- 可: 肩の挙上が肘屈曲で90度以上
- 不可: 肩の屈曲が肘屈曲で90度未満

成績

- 術前
 - 優:0肩, 良:2肩, 可:2肩, 不可:13肩
- 術後
 - 優:0肩, 良:3肩, 可:10肩, 不可:4肩
- 改善12肩, 不変2肩, 悪化3肩
 - 悪化3肩は全例前進術で腱板修復(4肩中)

前進術での修復，大腿筋膜移植の運命は？

- 前進術での修復 4肩
 - 修復が破綻 3肩
 - 全例術前より悪化
 - 修復維持されている 1肩
 - 大腿筋膜移植 13肩
 - 上腕骨側から断裂 11肩
 - 厚みをもって残存 2肩
- (CT, USで確認)

小径骨頭にすると

- 骨頭は下方に下げやすくなる
- 腱板修復はしやすくなる
 - 骨頭を下げることでできる修復は簡単ではない
- 回転運動中心が内側に、レバーアームが長くなるため、三角筋が働きやすくなる
- 腱板修復、大腿筋膜移植がうまくいかないと、骨頭が再度上昇する
- 上腕骨長が短くなる
 - 三角筋のtensionが低下、機能不全

Reverse Shoulder Prosthesis



まとめ

- 修復不能な腱板断裂に対し、人工骨頭置換術と腱前進、大腿筋膜移植、筋移行術を併用し、ある程度の機能改善が得られたが、今後検討すべき問題も多かった。